



小合中だより



小合中ホームページ

教育目標「自主 協力 創造」 重点目標「自己管理能力の育成」 427号 2025年12月02日

追究することの意義～小合デザイナー活動～

僕は小合デザイナーに入り、そして代表の一人として、デザイナーのみんなの考えをうまくまとめていくことができるのか、最初はとても不安でした。ですが、他のデザイナーの仲間や歓校長先生にサポートしてもらいながら、今回の小合校区学校運営協議会三校合同会も「しっかりとやり切れた！！」という気持ちで終えることができました。小合デザイナーの仲間や歓校長先生に、とても感謝しています。

この後も小合デザイナーとしての活動は続きます。12月17日には小合コミュニティ協議会の井浦会長と秋葉区の長崎区長を小合中にお招きし、小合地域の教育が目指す人間像等を決定させます。有志の集まりであるデザイナーのリーダーとして、これから、もっと積極的に励んでいきたいと思います。 小合デザイナー代表 ○○○○さん



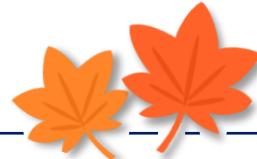
大きなプロジェクトを自分たちで立ち上げ、自分たちで運営する。周囲を巻き込み、よりよき姿を模索し続ける。これは、簡単なことではありません。まず、自身に熱意とわくわくする想いがなければ、他者を巻き込むことはできません。そして、どのようにしたら合意できるのか、様々な視点から検討を繰り返すことが求められるでしょう。今回、小合デザイナーのみなさんは、他の様々な活動や為すべきことがらと並行して、調整しながら、短時間で最大限の努力を重ねてきました。本当によく頑張りましたね。調整力や創造力、見通し力など、きっと多くを学び得て、自身を成長させたことでしょう。

小合校区学校運営協議会三校合同会では、小合中1、2年生有志からなる小合デザイナーを中心に、三校の委員はもちろんのこと、小合コミ協の学校部やミラビの皆様、秋葉区社会福祉協議会の方々、三校の教職員、そして何より、小合東小と小合小の6年生有志児童が一堂に集い、「小合地域の教育が目指す人間像」「小合中の教育が目指す生徒像」「その達成のための主な手立て」について、協議がなされました。会の後、参会者からは「自分もまだ何かしら役に立てるのであれば嬉しいですし、感謝です。(大人)」「子どもならではの発想と、経験豊富な大人の発想がそれぞれ違ったので、新しい気づきがあった。(小合中生)」「来年一緒にいる小合小や小合中の人と仲良く話せたり、今後についてたくさん考えたりできて楽しかった。(小合東小児童)」など、充実の声がたくさん寄せられました。子どもと大人がつながり、生徒と児童がつながった、とても貴重な機会だったと実感しています。代表の○○○さんのお話のとおりに、活動はまだ続きます。今後もぜひ、わくわくを追求していきましょう。

小合中学校 校長 永井 歓



小合校区学校運営協議会三校合同会の様子



小合デザイナーの提言 ～学校運営協議会三校合同会にて～

世界を取り巻く状況その1

サイバー空間とフィジカル空間の融合

Society5.0

ソサイエティ5.0は、「もの」と「インターネット」が融合した社会といわれます。たとえば自動車が運転手なしで走ったり、自宅にいながら遠方の患者にみてももらい、薬を家まで届けてもらったり。とても便利な社会です。

society5.0 AIの活躍

シンギュラリティ

- AIが人間の知能を上回る
- 予測不能な速度で技術革新が進む
- 2045年～2050年頃

AIが優れている

- 膨大なデータの処理
- 繰り返し作業の高速処理
- 不正利用の検知や本人確認 等

まだ人間が優れている

- 創造性（新しいアイデアを独自に生み出力）
- 偏見を持たない判断

世界を取り巻く状況その2

世界は狭くなった

グローバル化・気候変動

OECD

OECD 経済協力開発機構:世界の38の先進諸国が加盟する国際機関

ラーニング・コンパス2030

大人と子供が、関わるすべての場面で、一緒に『ウェルビーイング』を目指そう！

ウェルビーイングとは
よりよくあろうとすること
社会全体でよりよくある状態

小合地域の教育が目指す人間像<案>

10. に小

- 感性豊かな人
- 伝統と絆で繋がる人
- 熱意をもって挑戦する人

日本の教育が目指す人間像

LETS GOAL

めまぐるしい変化する社会の中で、その担い手になる人

社会全体のウェルビーイングを向上させる人

小合中の教育が目指す生徒像<案>

10. 小

- 全力で楽しみ、
わくわくの溢れる生徒（自主）
- 仲間や地域を尊重し、
助け合い高め合う生徒（協力）
- 積極的に創造する生徒（創造）

新潟市の教育が目指す人間像

LETS GOAL

しなやかに世界と未来を創る人

○「しなやか」は、「柔軟性、弾力性」「粘り強さ」「たくましさ」「適応力」
○「世界」は、グローバルな世界や自分が関わる身近な地域社会
○育成概念にとらわれず、主体性と挑戦する気概をもつ。新たな価値を創造しながら、しなやかに「世界」や「未来」を創り出していく新潟市民であってほしいという願い

達成のための主な手立て<案>

- 祭の活性化
- 奉仕活動の創造・活性化
- 地域の交流の場となる行事の創造・活性化

小合デザイナー作成、提案のプレゼンより（抜粋）

最初に、僕たちがどうして目指す生徒像や人間像をつくり、共有したいと思ったのか、説明します。

人類は、狩猟、農耕、工業、情報社会と進化して、いま、ソサイエティ5.0という段階に来ています。「もの」と「インターネット」が融合した社会。とても便利な社会です。その陰にはAI人工知能の存在が欠かせません。また、世界はとても狭くなっています。世界中で国や地域を超えて移動する人の数が年々、増加しています。その他、大規模森林火災、大雪、突風、洪水なども、多発しています。2015年、OECD（世界経済開発機構）は、ラーニング・コンパス2030を提案しました。人間にとて、よいことも悪いことも含めて、予測が困難で不安定、しかも変化が急速な今の世界では、大人と子どもが、かかわる全ての場面で、一緒に『ウェルビーイング』を目指すことが重要、との提案です。日本も新潟市もこの考えを受けて教育を進めています。世界も日本も新潟市も、みんな同様に言っていることがあります。それは、子どもがウェルビーイングを目指すには先生方や地域の方々といった大人もウェルビーイングを目指すことが重要なことだ。

では、小合地域が目指す人間像は、どのようなものでしょう。僕たちは、体育祭や合唱祭などを通して、集団で目的を共有していたからこそ、小合中全体が、そして一人一人が大きく成長できたと実感しています。なので小合地域でも目的を共有した方が、大きな成長につながると思うのです。歓校長先生からは「小合中が目指す生徒像」も考えてほしい、と依頼されました。先生方だけで目指す生徒像を決めるのではなく、生徒が主体となって決めるからこそ、僕たちは大きく成長できると、思っています。

僕たちは全校にアンケートを取り、小合地域の方々や小合中生のよさに注目しました。そして、そのよさをさらに高めようと努めることが、一人一人のさらなる成長につながると考えました。前回の学校運営協議会の場で地域の方々からいただいた「感性」や「挑戦」、「伝統」といった強い想いの込められた素敵な言葉に共感して、修正をし、再度、この場で提案します。（上のスライドの人間像・生徒像・手立て<案>が提案されました。）

※ ウェルビーイング：よりよく在ろうとすること、かかわる様々な社会でよりよく在る状態 等（様々な定義あり）



新生徒会役員の想い ～立会演説会より抜粋～

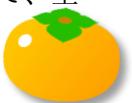
この小合中学校をもっと「心地いいな」と思える場所にしたいと考えています。僕には、頼れる後輩、尊敬できる先輩、信頼できる同級生がいます。その人たちと話すと、心が温まり学校が心地いいなと感じます。みなさんも心地いいなと感じられるように学校づくりをしていきます。一つ目は、レクです。他学年の交流ができるだけ多くし、みんなが楽しめるものとします。学年を超えた生徒間で信頼感が生まれると嬉しいです。二つ目は、放課後活動です。読書や勉強をしたい人に学習ルームを作ります。運動したい人は、体育館やグラウンドにスペースを作ります。一緒に勉強したり、スポーツをしたりすることで、他学年との交流が生まれます。そして、信頼関係が生まれます。普段から交流がなされ、学校が心地よくなります。先輩から後輩へ話しかけることで、コミュニケーションが生まれ信頼が生まれます。小合中学校がより盛り上がり、心地よくなります。この考えに少しでも共感してもらえたなら嬉しいです。

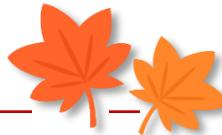
新生徒会長 ○○ ○○ さん



これまで、行事などでリーダーが率先して動き、指示する姿を見てきました。リーダーのお陰で全校が楽しむことができ、明るく盛り上がっています。私は、生徒会本部での経験を活かし、さらに活気のある学校を作りたいと思い、立候補しました。今回「広がれ、仲間の輪、『知らない』を『友達』に」という公約を掲げています。入学したばかりの頃は、わからないことだらけで、とても緊張しましたよね。来年の新入生は、入学してすぐに体育祭の準備が始まります。まだ学級の雰囲気にも慣れない中で大きな行事です。リーダーが必要で、誰かが手を挙げなければいけません。知らない人ばかりで心配だな、自分にできるかな。そんな不安を抱えて立候補するのは、とても大変です。だからこそ、先輩と一緒にリーダーをやれたら楽しそうだな、と感じてもらい、安心して挑戦してもらいたいと思います。そこで提案するのは、先輩と後輩が好きなもので繋がる交流活動です。例えば同じスポーツが好き。同じ音楽が好き。共通点をきっかけに話せる場を作ります。また、好きなこと等について書いたプロフィールを作成し、みんなで共有します。きっと話題が繋がります。そんな繋がりの輪を作ることで新入生は安心して学校生活を送れます。そしてこの輪は先輩にも広がります。友達の新たな一面に気付け、もっと楽しい学校生活となります。学年の壁を越えて全校で取り組める学校。何も知らない人と友達になれる『知らない』を『友達』にできる学校を作りたいです。私は仲間の輪を広げることに全力で取り組みます。 新生徒会副会長 ○○ ○○ さん

立候補した理由、一つ目は、学校を盛り上げることが好きだからです。今まで学級委員や応援リーダーといった仕事をしてきました。生徒の中心である生徒会役員として、より活気が溢れ、誰もがわくわくするような学校にしたいと思っています。二つ目、僕はこれまでの学校生活でたくさんの人の努力や優しさに支えられてきました。周囲の支えがあるからこそ、学校は成り立っているんだと実感しています。だから、今度は支える側になりたい。続いて、成し遂げたいこと。一つ目は、学校行事をもっと盛り上げたいです。行事活動は、特に思い出に残る大切な場面です。しかし、準備が大変で苦労したり情報共有が不十分で混乱したりすることもあります。早めに計画して共有すること。役割分担を明確にすること。それによって、より楽しめる行事とします。二つ目は、学年間でもっと親密な関係を作ることです。普段から先輩から後輩へ声を掛けるなど、自然に関係を深められるようにします。そして、学年を混合したイベントを企画します。生徒会副会長として、学校を、誰もが胸を張れるステージにしたい。その達成のためにも、責任感をもって、全力で動き、より輝かしい小合中を実現したいと思います。 新生徒会副会長 ○○ ○○ さん





私が掲げた公約は「日々を彩る」です。私が思う彩りとは、毎日の生活にちょっととした楽しみや前向きな気持ちが生まれることです。毎朝、やる気満々で学校に登校できる人はそういないのかなと。そんなとき「そういえば今日は楽しみな行事があるな」とか「友達とこんな話をしたいな」のように、少しのきっかけで頑張る気持ちが高まります。学校生活は小さなきっかけや工夫で楽しさややる気が大きく変わると思います。その具体策は二つ。一つ目は、自己紹介カードの掲示です。話してみたら気が合う人だったり、趣味が同じだったり。もっと早く知りたかったな、ということがあるはずです。小規模校である小合中では学年間の縦の繋がりが生まれやすいです。一人一人の人柄のよさや好きなことが自然と繋がり、他学年ともより繋がる仕組みを作ります。二つ目は、生徒会だよりの掲示です。行事の情報や生徒会活動の内容を分かりやすく発信して、みんなで学校を作り上げるという意識を高めます。書記長は、情報をまとめ発信し、学校を支える重要な役割です。全力で取り組みます。 新生徒会書記長 ○○ ○○ さん



価値付け合う3年生の姿～合唱祭メッセージ交換～



立会演説会直前、忙しい2年生のために尽力する3年生～選挙会場設営～



驚きと喜びの1年生～大収穫祭～



地域の方々とかかわる2年生～小合芸術祭～